



新年度がスタートしました！進級おめでとうございます。

校長 是枝 周二

やや遅れていた桜もようやく開花し、一気に春を迎えました。校庭の桜や色とりどりの春の花が、新年度のスタートと子どもたちの入学、進級を祝ってくれています。10日の入学式で131名の新一年生を迎え、752人の全校生、27学級で本校の新年度がスタートしました。

本日の始業式で、子どもたちには数々の新しい出会いがありました。一つ進級した新学年、新しい学級での新たな友達との出会い、学年や担任の先生との顔合わせ。それぞれの出会いのなかで、これからの学校生活への期待とちょっぴり不安な気持ちと様々な思いが胸を踊らせた一日だったでしょう。しかし、心配をすることはありません。新年度の真っ白なキャンパスに、この一年で友達と力を合わせ、心をつ一つにして、色とりどりの絵の具を重ねていくことで、一年後には自分なりの見事な作品が仕上がっていくのです。私たちはそれらを全力で支えていきます。この一年間、昨年度にも増してよろしく願いいたします。



## 対話を大切にして、心をつ一つに。

平成32年度から全面実施される学習指導要領では、学習において主体的・対話的で深い学びの実現をめざしています。本校の学習指導でも私たちは、一人一人の主体的な学習と子どもたち相互による対話的な学習に力を注いで指導に取り組んでいます。とりわけ、子ども同士の意見や考えを聞き合い、伝え合うという学習活動を通して、子どもたちの考えや理解が深まるよう努めています。

学習だけではありません。学校のあらゆる場面において、子どもたち同士の思いやりに満ちた対話、先生と子どもたちとのあたたかい対話、これらが望ましい人間関係の基盤となり、心と心をつなぐ架け橋となります。

ご家庭でも同じです。家族同士の対話が家族の絆を築き、子どもたちにとって、家庭が気持ちの安定する心の居場所となります。そのための団らんの時間をしっかりととるのは、とても大切な

ことです。

今年度、本校では、子どもたちと先生との対話を重視した新しい取り組みを考えています。子どもたちの視線に立って、一人一人の子どもたちの話にしっかりと耳を傾けることにより、より深く子どもたちを理解し、日々の学習指導、生活指導に生かしていくよう努めます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【すべり台も新しくなりました】



します。